



こえおけ  
**肥桶**

**昭和時代**

現在のような化学肥料が普及する以前は、<sup>しにょう</sup>尿尿を利用した<sup>しもごえ</sup>下肥という肥料を使っていました。肥桶は下肥を運ぶための桶で、天秤棒で担いで運びました。「肥桶」は地域によって呼び方は様々で、市域では「コエタゴ」と呼ばれました。

**今昔**

肥桶（陸運・舟運）→リヤカー

下肥自体が衰退し、化学肥料に切替（昭和 30～40 年代）

郷土資料館蔵